

## 令和6年度 3年次生 臨地実習オリエンテーション

4月8日(月) 全体オリエンテーションと臨地実習履修認定式(3階第3講義室)

10時30分～3年生オリエンテーション：永田

(学習面・生活面からの実習への心構え、クラス運営について)

11時 ～実習の心構え：達川

13時 ～文献検索ガイダンス：図書館医学部分館

14時15分～臨地実習履修認定式

4月9日(火) 実習オリエンテーション(3階第3講義室)

13時 ～ハラスメントの予防(オフィス・カラー 水谷紀子先生)

14時 ～健康課題別看護Ⅰ：B女性健康支援論：宇都宮

14時15分～健康課題別看護Ⅳ：エンドオブライフ支援実習：陶山

14時30分～健康課題別看護Ⅲ：Aセルフマネジメント支援実習(成人)：二井谷

14時45分～健康課題別看護Ⅲ：Bセルフマネジメント支援実習(精神)：柴

4月10日(水) 実習関連オリエンテーション(3階第3講義室)

10時 ～接遇等を踏まえた施設等での実習の在り方：吉田

10時30分～感染対策：城賀本

11時 ～医療安全：小岡

11時30分～医療安全・有害業務に対する知識：医療安全部 松本哲先生

13時～14時30分 実習に必要な看護技術のシミュレーション

- A シーツ交換(実習室D)：○永田, 城賀本, 西山, 井上
- B バイタルサイン測定(実習室D)：○二井谷, 達川, 中野
- C フィジカルアセスメント(実習室C)：○柴, 山下, 宇都宮, 竹井

コンセプト：実習で遭遇する臨床状況において、上記の看護技術の経験を行う。

- 20名1G(次々頁参照)で順次、各ブースを経験する。
- 学生はユニフォームを着用し、聴診器・筆記用具・メモ帳を持参する。
- 全体の時間は、90分程度とする。各ブースは移動時間を含めて30分で行う。
- 演習後60分は、学生が各自で項目を選択しセルフトレーニングを行う時間とする。
- セルフトレーニングの時間は、それぞれのブースの担当教員が残り指導を行う。

項目名	A：シーツ交換 実習室 D
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔なりネンと不潔なりネンの取り扱いの説明を説明できる。</li> <li>・シーツ交換の際に、気をつけることが説明できる。</li> <li>・臨床状況に置けるシーツ交換を実施できる。</li> </ul>
演習スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習室 D の 5 つのベッドの床頭台・オーバーテーブルには、患者の私物に相当するモノ（コップ、新聞紙等）を乗せておく。</li> <li>・実習室 D の 5 つのベッドに 4 人の学生を配置。</li> </ul> <p>演習の説明（5分）：演習の説明を行う。</p> <p>演習内容（15分）：看護師 2 名，患者 1 名，観察者役 1 名。 プレブリーフィング後，シーツ交換の実施，修了後振り返り。</p> <p>まとめ・移動（10分）：振り返りの意見を共有後，次に移動。</p>

項目名	B：バイタルサイン測定 実習室 D
目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 様々な状況（右乳房全摘術の既往のある DM 患者/脳梗塞により左片麻痺のある誤嚥性肺炎患者/左前腕にシャント造設した血液透析導入患者/脈圧が減弱した終末期患者/上着を複数枚重ね着した統合失調症患者）にある患者の、朝のバイタルサイン測定と必要な観察を行う。</li> <li>2. 得た情報を SBAR を用いて報告する。</li> </ol>
演習スケジュール	<p>演習の説明（5分）：内容と方法の説明</p> <p>演習内容（20分）：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1 ベッドに 4 人の学生を配置する（5 ベッド使用）。</li> <li>2. 5 事例のなかから 1 ベッドにつき 2 つを選択する。</li> <li>3. プレブリーフィング実施後，看護師役 1 名，患者役 1 名，観察者役 2 名に分かれて，測定と観察を行う。役割交代再度実施。</li> <li>4. SBAR による報告を病棟看護師役の教員に行う。</li> <li>5. デブリーフィングを行う。</li> </ol> <p>移動(5分)：ベッドを整えた後，次ブースに移動する。</p>

項目名	C：フィジカルアセスメント 実習室 C
目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 肺音の聴取部位が分かり、正常音が聴取できる</li> <li>2. 事例に対して目的の説明や心身への配慮ができる</li> <li>3. 事例の異常音を聴取できる</li> </ol>
演習スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生 10 人ずつ 2 ブースで実施</li> <li>・導入（10分）：T シャツを着用した教員の背部聴診部位にシールを貼ってもらう、時間内は順番に聴診体験</li> <li>・演習(8分)：間質性肺炎の設定モデルを使い、訪室から退室までを各ブース 1 人が実施する</li> <li>・デブリ（8分）：工夫した点、よかった点、改善点など</li> <li>・移動（4分）</li> </ul>